令和 7 年度 東日本大震災アーカイブシンポジウム
―震災アーカイブの構築・継続・次世代への継承―

日時 ： 令和 8 年 1 月 11 日（日） 13 時から 16 時 10 分まで
開催方法 ： 会場（定員 120 名）、オンラインライブ配信（Zoom）（定員 300 名）
主催 ： 東北大学災害科学国際研究所・国立国会図書館
後援 ： デジタルアーカイブ学会

司会 ： 東北大学 災害科学国際研究所 准教授 柴山 明寛

（1）オープニング（10 分）

開会の挨拶

東北大学 災害科学国際研究所 所長 栗山 進一

趣旨説明

東北大学 災害科学国際研究所 教授 今村 文彦

（2）特別講演（30 分）

「日本災害 DIGITAL アーカイブ」の取組みについて

米・ハーバード大学 歴史学部 教授 アンドルー・ゴードン（Andrew Gordon）

（3）事例報告（各 20 分）

「熊本災害デジタルアーカイブ」の取組みについて

熊本県 危機管理監 鳥井 薫順

「令和 6 年能登半島地震アーカイブ 震災の記憶・復興の記録」の構築と現在

石川県 戦略広報監 中塚 健也

防災学習・探究活動における震災アーカイブの活用について

宮城県 多賀城高等学校 教諭・災害科学科長 石山 俊太
災害科学科 2 年 阿部 愛、釘宮 沙英、鈴木 蓮、真部 航成

（4）進捗報告（各 10 分）

国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）―システムのこれから―

国立国会図書館 電子情報部 主任司書 小林 芳幸

今後予想される震災アーカイブの未来について

東北大学 災害科学国際研究所 准教授 柴山 明寛

（休憩 15 分）

（5）パネルディスカッション（50 分）

震災アーカイブの構築・継続・次世代への継承について

モデレーター ： 柴山 明寛、パネリスト ： 登壇者全員

（6）クロージング（5 分）

閉会の挨拶

国立国会図書館 電子情報部 主任司書 小林 芳幸